

日本との共同研究に興味を示し、具体的にいろいろな提案をしていたことを忘れてはなるまい。今後もこのような共同研究が息長くつづくことをのぞみたい。

最後にパリ天体物理学研究所の唐牛 宏氏のことを記しておく。同氏は今回のセミナーだけでなく、日仏とい

うことになるに陰に陽に、両国のかけ橋の役割を演じている。パリを訪れた天文学者でお世話になっている方も多数あるだろうが、今回のセミナーを成功裏に終了出来たことは、彼のはたしている役割に負うところが多い。

NEWS

1986 年アンドロメダ座新星

岐阜県恵那市の鈴木充氏は、1986 年 12 月 5 日 19 時 32 分～35 分、19 時 36 分～43 分の間に撮影した 2 枚の写真フィルムでアンドロメダ座の $\alpha=23^{\text{h}}09^{\text{m}}5$, $\delta=+47^{\circ}10'$ (1950.0) の位置に、光度約 8 等級の新星状天体を発見して東京天文台へ連絡して来られた。同氏によると、11 月 27 日撮影のフィルム上には検出できず、静岡県のと久田実氏によると 12 月 4 日撮影のフィルム上で確認できた由であった。東京天文台では直ちに調査を始め、倉敷市の本田実氏に、同氏のフィルムチェックをお願いしたところ、12 月 2 日は 12 等より明かるくはない、3 日はく

もり、4 日 8 等級、5 日 7.5 等級としてフィルム上で確認された。東京天文台では、関係観測所へ連絡すると共に、IAU へ新星状天体として打電した。5 日夜、岡山天体物理観測所より、スペクトルが得られ、幅広く広がった H_{α} , H_{β} などの輝帯と、それにとまなう吸収が見え、新星であることが確実となった、との連絡を受けた。堂平観測所では、直接写真が撮影され、その位置が下の通り測られた。

$$\alpha=28^{\text{h}}09^{\text{m}}47^{\text{s}}.72, \quad \delta=+47^{\circ}12'00''.8 \quad (1950.0)$$

尚、眼視による光度観測が次のように行われている。12 月 8.94 日、6.3 等、9.31 日、6.8 等、9.81 日、6.9 等

日本人による 1986 年の新星としては、8 月の和久田氏につづいて 2 個目である。(香西洋樹)

賛助会員名簿

(1987年3月5日現在の国会賛助会員は下記のとおりであります。ここに社名、代表者名を掲載させて頂いて感謝の意を表します。(五十音順))

旭光学工業株式会社
朝日新聞社科学部
アストロ光学工業株式会社
岩波書店
宇宙開発事業団
大阪市立電気科学館
沖電気工業株式会社
カールツァイス株式会社
河出書房新社
関東電気工業株式会社
(株)教育社 Newton 編集室
国際文献印刷社
啓文堂松本印刷
恒星社厚生閣
五藤光学研究所
コロムビア貿易株式会社
金光教本部教庁
(株)三
スライデックス(株)
サンシャインプラネタリウム
誠文堂新光社
(株)立風書房
地人書館
天文博物館
五島プラネタリウム
東京学術印刷株式会社
東京電力株式会社
(株)東芝

松本徹
武部俊一
岩川毅
緑川享
山内正男
北澤淳
藤村卓司
ハイソック・シュミット
清水勝
関井章義
笠井康弘
松本康弘
佐竹久男
五藤隆一郎
飛田利一
金光鑑太郎
恒川稔朗
尾関二郎
植野雅義
小川茂男
下野博夫
中田威夫
五島昇
船越昭二
平岩外四
佐波正一

東北電力株式会社
コダック・ナガセ(株)
名古屋放送株式会社制作部
ナルミ商会
日本光学工業株式会社
(社)日本測量協会
(財)日本地図センター
日本通信機株式会社
日本特殊光学
(株)ニホン・ミック東京本社
日本ユニパック株式会社
名古屋支店
(株)ニュートリノ
ネイチャー誌 日本編集局
浜松ホトニクス株式会社
ファコム・ハイタック(株)
システム第3部
富士通株式会社
システム統轄部
丸善株式会社
三鷹光器株式会社
三菱電機株式会社
宇宙衛星通信部
ミノルタカメラ株式会社
森田清
雄山閣出版株式会社
(株)渡辺教具製作所

玉川敏雄
田川敏
乗松要作
村福上俊男
坪岡成忠
高川恒義
川崎正義
山田稔
萩村一
黒木建雄
山本義朗
Dr. アラン・
アンダーソン
畫馬輝夫
笹原昭彦
小坂義裕
海老原熊雄
中村義一
望月孝則
田嶋英雄
長坂一雄
渡辺哲郎